

科 目	文学				
時間数	1 単位 30 時間	授業方法	講義	授業時期	1 年
講師名	⑤内田泉				
ねらい	優れた文学作品を読み、看護を担うにふさわしい豊かな感性や強い意志・倫理観を養う。 人の話に耳を傾ける姿勢を養い、自分の考えや思いを適切に述べる力を養う。 漢字や語彙力を身につけ、目的に応じた文章が素早的確に書ける力を養う。				
目 標	1. 評論・詩歌・小説・古典・記録文学を読み味わい、作者の死生観を学び、背景となる歴史や社会にも関心を持ち、今を生きる自分のこれからの生き方や日頃意識しないことが多い死について考えを深める。 2. 感想・意見を文章あるいは口頭で発表する力を養う。クラスメートの意見を読み、聞き、また関連作品を自分から読むことで、自分の考えを深める。 3. 看護の現場で必要とされる漢字・語彙を自分で学習し、課題・テストで力の定着を図る。				
授業計画					
回	内 容				
1	ガイダンス シラバス説明 テキスト1 評論「死ぬことと生きること」(土門拳)を読み、作者の思いを読み取る。				
2	「死ぬことと生きること」作者の死生観について考え、自分は「死」についてどう考えているか、どう生きて行きたいか考え、今の自分の死生観を書く。〈参考 土門拳のテキスト以外の文章・写真集〉				
3	死ぬことと生きること〈発展 子どもの死を悲しむ「万葉集」「古今集」「近代詩歌」等の作品に触れ、時代が移っても変わることのない子を亡くした親の悲しみを知る。日本人の死生観の変化について考える。〉				
4	テキスト2 近代詩「仮纏帯所にて」(峠三吉)を読み、作者の思いを読み取り、感想文を書く。				
5	他の原爆文学作品〈原民喜「夏の花」松谷みよ子「まちんと」林京子「空缶」こうの史代「夕凧の街 桜の国」他から選ぶ〉を読み、核廃絶・平和を守ることについての意見文を書き、クラスで読み合い、考えを深める。				
6	テキスト3 「文章を書く」(大河原忠蔵)を読み文章を書く上で注意すべき点を確認する。				
7	試験				
8	テキスト4 古典「方丈記」(鴨長明)を読み、日本人の伝統的自然観・無常観について考える。				
9	「方丈記」に関連して他の災害文学作品〈「発心集」「震災の記録」他〉を読み、人として将来の看護師として、大災害など危機に際した時どうありたいか、あるべきか、自分の生き方について考える。意見文を書きクラスで読み合う。				
10	テキスト5 小説「城の崎にて」(志賀直哉)を読み、作者の死生観について考え、感想を書く。 〈発展 「和解」特に第一子の死から第二子出産立ち会いを経ての作者の思いの変化について考える。〉				
11	テキスト6「短歌と俳句」斎藤茂吉「死にたまふ母」を読み、最愛の母を看取り送る作者の思いを読み味わう。				
12	〈発展 永田和宏「近代短歌」 近代の闘病・看護・介護の詩歌を鑑賞し、患者・家族の思いに触れ、看護の担い手としての思いを深める。「死にたまふ母」と併せて子・親・看護師としての立場から感想を書き、クラスで考える。				

13	テキスト 8 ノンフィクション「清光館哀史」(柳田国男)人の世の移り変わりの儚さへの哀感とそれでも生きて行くしかないという感慨を読み取り、自分の「生」について思いを深める。〈参考「遠野物語」明治三陸大津波後の幽霊の話他〉
14	試験
15	まとめ (テキスト 8 「山村女性の働き」(土橋里木)働く女性の歴史を知りこれからの自分たちの働き方について考える。)
評価方法	①試験成績(100点満点2回) ②漢字・小テスト ③感想文・意見文・プリント等の課題・提出物の評価 ④授業態度(発表・出欠含む)の評価 以上を総合評価する
教科書	テキスト 大河原忠蔵編著 「看護師教養講座国語」 上記の〈参考発展〉以外にも関連する「生と死」「いのち」をテーマにした作品を紹介するので、どんどん読んでもらいたい。